

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (九州)	◎	スーパー（店長）	お客様の様子	・全国旅行支援やプレミアム付商品券の効果もあり消費支出は上昇している。当店でも数値に変化があり、来客数や販売点数共に前年超過傾向である。
	◎	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第8波及び知事選挙の影響が懸念されたが、客足は悪くなることなく順調に推移している。特に感染による規制もなく、県外からの客も増え安堵している。
	◎	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・国内のゴルフ需要は順調に推移している。また、2023年1月12日から韓国からのチャーター便の就航に伴う韓国からの来場予約もあり、ゴルフの予約は順調に推移している。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・11月と比べ景気は好転しているが、前年の12月と比較すると20%減少になっているため、景気が上向いているとはいえない。
	○	商店街（代表者）	販売量の動き	・寒さが厳しくなるにつれ、1品単価は低めであるが、まとめ買いの客が目立つようになっている。
	○	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され商店街にも人通りが戻ってきている。一方、物価高により消費は新型コロナウイルス感染症発生前の7割程度にとどまっている。
	○	商店街（代表者）	販売量の動き	・前月からプレミアム付商品券が発売され、それを利用した購買のためやや景気が上向いている。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街の火災から8か月がたち、営業努力のかいがあり、徐々に来客数が増加している。
	○	一般小売店〔精肉〕（店員）	単価の動き	・飲食店向けの取引では、高単価の商品がよく売れている。
	○	百貨店（企画担当）	来客数の動き	・パートナー、家族、友人など複数名での来店が目立っている。旅行や帰省用の土産にギフトを探す客が多い。
	○	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の再拡大と寒波により、来客数減少と商品価格の上昇で年末の節約志向が高まり景況悪化を感じている。お歳暮ギフトについて、通販部門は維持しているが、店頭への購買客数は減少している。また、贈答先を絞り込む傾向がみられ、商品価格や客単価はアップしている。クリスマス関連は玩具や一部舶来ブランドで価格の低下がみられる。月末は帰省している家族と同伴での正月用品購入の来店も目立ったが、目的の売場へ直行しているため、買い回りの姿がみられなかった。全店催事や特典のあるクレジット催事での購入や金券、キャッシュレス決済利用が増えている。
	○	スーパー（店長）	販売量の動き	・食品関連を筆頭に衣料品や住余商品共に前年の売上を上回っており好調である。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・2年ほど続いている客単価の上昇に加え、来客数の増加もこのところ続いている。しかし、目的買いの客が大半ではあるため、値上げにより更に必需品のみを買い求めている。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・企業の勤務状況が出勤型に戻ったことでリモートワークの比率が下がり、加えて新型コロナウイルス感染症の規制緩和により人の動きが活発になったことで、来客数が増加している。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症が再拡大しても消費行動に変化がなく、購買は拡大傾向である。個人単位の購入から家族やグループ単位での購入が明らかに増加しており、おにぎりや飲物の主力商品の販売が増加している。新型コロナウイルスの感染拡大による行動制限がないことから朝、昼、夜帯の通勤やイベント等の人の動きが活発になり、売上が増加している。
○	コンビニ（エリア担当・店長）	販売量の動き	・来客数は前年と同じ状態で推移しているが、買上点数は前年を若干上回っている。加えて、商品値上げで売上も伸びているため、このまま推移していくと考えている。	

○	衣料品専門店 (店員)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第8波が発生しているが、新型コロナウイルス感染症の第7波までとは状況が異なり、行動制限せずに来店する客が増加している。
○	家電量販店(店員)	販売量の動き	・12月は、寒波が来たため、季節商材の動きがやや良くなっている。
○	家電量販店(従業員)	販売量の動き	・プレミアム付商品券や全国旅行支援、省エネルギー家電製品購入補助金等、様々な景気刺激策を利用した買物が増加しており恩恵を感じている。加えて、寒さの影響も大きい。
○	乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・年末商戦で販売量は増加したが、例年と比べると動きは少ない。
○	乗用車販売店(役員)	販売量の動き	・新型車の波及効果により受注は好調である。販売量はメーカーからの需給改善が少しずつみられ増加傾向にある。
○	住関連専門店(従業員)	単価の動き	・記録的な寒波による冷え込みもあり、高単価の秋冬寝具が好調に推移している。一方で低価格帯は買い控えの傾向がみられる。客は物価高による経済的理由により、節約をしている。
○	その他専門店 [コーヒー豆] (経営者)	販売量の動き	・10月から年末にかけて、店頭でのコーヒーの販売量が若干増加している。年末の動きは、前年と比較すると徐々に客の出入りが多くなっており、それに伴い販売量も増加している。
○	その他小売の動向を把握できる者 [ショッピングセンター] (統括者)	販売量の動き	・国内外の観光客が大きく伸びていることにより、売上が新型コロナウイルス感染症発生前に近づきつつある。
○	高級レストラン(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響で、1次会の食事のみで帰宅してしまうため1回転しかしない状態である。行政では、外食を促進する施策を取り始めているが、まだまだ難しい状況である。
○	居酒屋(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増加しているが、外食への影響はさほどない。
○	その他飲食の動向を把握できる者 [酒卸売] (経理)	販売量の動き	・12月の人の動きは良いが、後半になるにつれて新型コロナウイルスの新規感染者が増加し、売上は減少している。しかし、この数字には、全国旅行支援の効果も含まれており、景気はやや良くなっている。
○	都市型ホテル(スタッフ)	販売量の動き	・全国旅行支援の後押しもあり、稼働は新型コロナウイルス感染症発生前の水準に戻っている。
○	タクシー運転手	来客数の動き	・年末の繁忙期にタクシー需要が増加しているにもかかわらず、新型コロナウイルス感染症の影響で離職した運転手も多く、毎日3割程度のタクシーが車庫に眠った状態で、運転手不足が回復していない。1回当たりの収入は新型コロナウイルス感染症発生以前より増加している状態である。
○	通信会社(社員)	お客様の様子	・来客数が増加している。
○	通信会社(営業担当)	それ以外	・様々な施設での人の流れが、新型コロナウイルス感染症発生前に近づいている。
○	観光名所(職員)	お客様の様子	・市内の土産物店や飲食店で客が増加している。
○	競馬場(職員)	販売量の動き	・コロナ禍で抑制していた消費行動が戻ってきており、好調に推移している。
○	美容室(経営者)	販売量の動き	・年末年始は繁忙期になるため、商品に動きがあり、少しずつ回復傾向になっている。
○	美容室(経営者)	来客数の動き	・12月は、新型コロナウイルス感染症の行動規制もなく、前年とは全く状況が異なり、少し良くなっている。
○	美容室(店長)	来客数の動き	・2か月前より来客数が増え、徐々に景気が良くなっている。
□	一般小売店[青果](店長)	お客様の様子	・夏に比べ地元の野菜が増えているが、この寒さで当地産のトマト、キュウリ、ピーマンの価格がかなり上がっている。価格上昇により客が手を出しにくい状態になり、3か月前より来客は増えているようだが、単価は伸びず変わっていない。

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・例年12月は正月やお供え用の花の需要があり繁忙期であるが、喪中のはがきや年末のお供え用の花等の売行きは、それなりにあったため悪くない状況である。
<input type="checkbox"/>	百貨店（経理担当）	競争相手の様子	・市内大型店4店の12月上見通しは、前年比102.8%で3か月前の売上前年比102.0%と比較すると余り変わらない。テナント、食料品の売上は良くなっているが、衣料品は依然として苦戦を強いられている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（経営企画担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増加しているものの、来客数は前年とほぼ同じ水準で推移しており、来店への影響はみられない。しかし、店舗の売上は前年ほどの伸びがなく、行動制限が緩和されていることにより、旅行等への消費が増えていると予測される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・物価高の影響で財布のひもが固くなっており、来客数が前年と比べて厳しい数字となっている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・クリスマスや新年イベントが続くなかで、相次ぐ商品値上げによる単価上昇により売上は前年を上回る傾向にあるが、来客数は依然として前年を1%から3%程度下回っている。単価上昇が客単価上昇につながっているだけで、購買意欲の向上にはつながっていない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	販売量の動き	・12月は寒さも本格的になり、冬物商材や年末商材の動きは良くなっている。多くの商品の値上げにより、客単価が高くなっているが、買上点数は減少し、1品単価は増加、来客数は減少している。安価な物や品質が良い商品は動きが良い状況である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	単価の動き	・商品価格の高騰により、売上増加の見込みを予想していたが、経済の冷え込みの影響で客の買い控えが起こっている。地域によってかなり差がある状態である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・値上げの影響や新型コロナウイルスの新規感染者数が増加している影響もあり、来客数は減少傾向が続いている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症を警戒して来店しなくなった客は、そのまま足が遠のいている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（取締役）	お客様の様子	・3か月前のファッション業界は立ち上がりの時期である。現在はセールの時期で利益率が低くなっているが、客の購入が若干増加している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・新車の受注は堅調に推移しているが、メーカーからの新車配給が大変少なく売上が計上できず、大変厳しい状況が続いている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（役員）	来客数の動き	・3か月前と同様に、新型車の発表があり、来客数は減っていない。
<input type="checkbox"/>	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	来客数の動き	・ヒット映画が上映された9月と比較すると、数値はやや落ち着いた状態にある。12月は年末商戦らしく順調に推移しているが、2週連続で週末に降雪が観測され、クリスマス需要を含め自宅で過ごす傾向が強かった。新型コロナウイルスの新規感染者数も増えており、消費動向に与えるインパクトは大きくないものの、物価上昇の報道過熱により消費者心理は慎重になっている。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月は、新型コロナウイルス感染症の第8波の影響で、少人数の客は入っているが、団体客は余り利用がない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・3か月前から宿泊利用は高い水準を維持しているが、宴会・婚礼利用等は新型コロナウイルス感染症発生前のピーク時を下回る水準が継続している。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	お客様の様子	・客は増えているが、まだまだ新型コロナウイルス感染症の影響を感じる。
<input type="checkbox"/>	通信会社（統括者）	販売量の動き	・携帯電話の販売台数等を前年と比較すると、ほぼ前年並みの見込みだが、計画値からは下回る。店外イベントも開催し、新規契約や機種変更の獲得に力を入れている。
<input type="checkbox"/>	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	それ以外	・光熱費や電気、ガス料金の値上がりで、僅かな利益も得ることができない。

	□	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・駐車場の管理について、3か月前との比較では来場者数は増加しているが、3時間無料の客が多く、それ以上駐車する客は少ない。人は動いているが、景気に付与するような動きではない。
	□	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・展示場やイベント来場者数も前月比で大きな変動はない。
	▲	商店街(代表者)	お客様の様子	・コロナ禍ではあるが人の移動ができることで、人の動向は3か月前より増加しているが、購買をするまでにはない。余裕がある人となない人の差ははっきりしており、景気は余り良くない。
	▲	一般小売店〔鮮魚〕(店員)	お客様の様子	・漁獲量が少なく、しけが続いている。今年も残り少なくなっているが、好天に恵まれ、漁獲量が増えなければ、おせちがそろわない。養殖物が値上がりしており、商売が大変厳しいと予想される。
	▲	一般小売店〔茶〕(販売・事務)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数も増え続け心配しているが、それとは関係なく売上は減少している。高齢者は新型コロナウイルスの感染防止のため外出を控えている。そのため、配達に切り替えてはいるが、少量だと頼みにくいと遠慮される状態である。年末には恒例の贈答品の注文も年々減少している。
	▲	百貨店(企画担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第8波の影響により、子供中心にファミリーの入店が減少傾向にある。また、寒波の影響で外出自粛の傾向も高齢者を中心に散見される。年末年始に向け人流は活発になると見込んでいるが、3か月前の回復傾向にあった状況からは鈍化している。
	▲	百貨店(業務担当)	お客様の様子	・日用品を含め、様々な物が値上がりし、これまでのように買物ができない客が多くなっている。来客数も落ち込んでおり、しばらくは慎重な買物になると懸念している。
	▲	家電量販店(店長)	来客数の動き	・前月後半から今月に入って来客数が明らかに落ちている。行動規制のない年末のため、他業種に流れている可能性があり、業界の景気は良くない。
	▲	住関連専門店(経営者)	来客数の動き	・今月は来客数が少なく、同業者でも同じ現象である。
	▲	観光型ホテル(専務)	来客数の動き	・例年、寒い時期の稼働は良くないが、全国旅行支援が延長されたため個人客の動きが良い。
	▲	タクシー運転手	競争相手の様子	・忙しい状態ではあるが今後も続くとは考えられず、来年には景気は下がってくる。これだけ物価上昇しているため、財布のひもが更に固くなると考えられる。
	▲	通信会社(企画担当)	販売量の動き	・光回線の販売件数が想定ほど伸びず、減少している。
	▲	観光名所(従業員)	来客数の動き	・全国旅行支援が一旦終了した影響がある。また、寒波の影響による道路規制等で当地への旅行が難しい状況になり、11月末から今月に入り、客足が激減している。
	▲	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕(管理担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症第8波の感染拡大により、サービスキャンセルが増加傾向にあり、利用者数が減少している。
	▲	設計事務所(代表)	来客数の動き	・金利が上昇基調にあるため、状況判断している。
	×	商店街(代表者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の第8波の影響で、商店街への客が少なくなっている。師走商戦になっているが、歳末らしくない12月になっている。
	×	設計事務所(所長)	単価の動き	・建築の材料や製品価格の上昇が続いており、生活必需品も値上げが続いている。その反面収入は増えていない。
企業動向関連 (九州)	◎	—	—	—
	○	農林水産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・今月は鳥インフルエンザの影響もあり、鶏の入荷が少なく取引先の需要に応えることができない状況になっている。12月は最需要期であるが、現状の供給予定を考えると売上計画の約85%になる見込みで、近年にない状況となっている。落ち込んでいた外食部門での引き合いも強くなっており、大きな機会損失を招いている。

<input type="radio"/>	電気機械器具製造業（取締役）	受注量や販売量の動き	・コロナ禍での外出自粛の反動がみられるものの、新型コロナウイルス感染症に対する必要以上の懸念により景気が後退している。自動車のモーター関連では、取引先の引き合いが継続している。
<input type="radio"/>	金融業（従業員）	取引先の様子	・家電販売はほぼ横ばいで推移しており、百貨店やスーパーマーケットでは売上が持ち直している。また、旅行商品の販売や飲食店の売上も増加しており、雇用環境も改善傾向がみられる。
<input type="radio"/>	金融業（調査担当）	取引先の様子	・小売業や宿泊サービス業では、中国人観光客の来日が待たれる状況ではあるが、インバウンド消費が回復基調で推移している。自動車製造業では、事業者によって水準にばらつきがあるものの、生産状況に改善がみられる。
<input type="radio"/>	広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注量や販売量は、前月よりも若干ではあるが上向いている。新型コロナウイルス感染症の第8波が発生しているが、政府による行動規制の緩和が功を奏している。
<input type="radio"/>	経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・今月前半は景気が良かったが、後半から厳しい状態になっている。要因としては、新型コロナウイルス感染症の爆発的な感染拡大が、足を引っ張っている状態になっている。
<input type="radio"/>	経営コンサルタント（社員）	受注量や販売量の動き	・原料の価格高騰による小売価格の上昇で売上が低下している。消費者の動きは活発になっているが卸売志向になり、より安いところで爆買いをしている。
<input type="checkbox"/>	農林水産業（従業者）	それ以外	・コストが高くなっており、価格転嫁ができない状況に苦しんでいる。
<input type="checkbox"/>	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・季節商材の繁忙期となるため、比較的順調に推移している。
<input type="checkbox"/>	繊維工業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・取引先には工賃を値上げしたが、それ以上に、電気代や資材全ての値上がりで厳しい状態になっている。先行きが分からないため出費を抑えている。
<input type="checkbox"/>	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・商品価格の2割増加の浸透がまだ先になると考えられるが、現状では支障がない状態である。売上について、ふるさと納税関連は2割落ち込んでいるものの、全体としては現状に近い水準になると予想している。
<input type="checkbox"/>	金属製品製造業（事業統括）	受注量や販売量の動き	・年度末の販売量は例年どおり好調であるが、受注量は例年と大差なく低調である。
<input type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比較すると半導体の供給が思わしくなく、なかなか上昇に至っていないため、横ばいが続いている。極端に悪い状態から抜け出しているが、現状がしばらく継続すると予測される。
<input type="checkbox"/>	その他製造業 〔産業廃棄物処理業〕	取引先の様子	・客の状況は、新規ライン増設はあるもののまだほとんど稼働しておらず、来年の稼働にずれ込む状態である。
<input type="checkbox"/>	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・年末にもかかわらず荷動きは低調である。新型コロナウイルス感染症発生前は3割程度、受注が増加していたが、当月は通常の1割程度の増加である。節約生活が続いていることもあり、商品が売れていないことが要因である。また、住宅に関しても、原材料の価格高騰により現時点で見積りを作成しても工事着手の際には金額変更もあるため、予算を立てることが難しい状況であると聞く。
<input type="checkbox"/>	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・物量が新型コロナウイルス感染症発生前の水準に戻ってきているが、荷主側の生産が追い付かず、在庫や出庫の効率が悪い。
<input type="checkbox"/>	金融業（営業）	取引先の様子	・新しい生活様式により経済活動は正常に動いている。しかし、物価高による消費の抑制がみられ、全体として変わりはない。
<input type="checkbox"/>	金融業（調査担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりしていることもあり、企業等では忘年会や新年会を自粛する動きが根強く、回復を期待した飲食関係者は嘆息を漏らしている。例年より気温が低く、手袋や厚手の靴下、コートなどの冬物衣料は比較的堅調に推移しているが、冬季ボーナスは、貯蓄志向が強まっている。
<input type="checkbox"/>	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・以前よりも仕事が若干上向いている。

	□	経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・取引先の業況について、変化がない客が多い。
	□	経営コンサルタント（社員）	競争相手の様子	・現状では会合を持つのが困難であるため、メールでの情報交換に頼っている。特に新たな目立つ情報は少なく、悲観的なことが多い。
	▲	輸送用機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・生産量確定後の変更回数が増加し、減少方向へ動いている。
	▲	建設業（社員）	受注量や販売量の動き	・令和5年度に向け発注が増えなければ見通しが立てられない。補正予算は確保されているが、まだ発注がなく早めの発注を期待している。
	▲	金融業（営業担当）	取引先の様子	・取引先中小企業では、電気料金や燃料、仕入資材等含め値上がりしが止まらない。そのため売上が上がらず、収益を圧迫している。
	▲	その他サービス業【物品リース】（職員）	取引先の様子	・3か月前との比較では、円安の影響による物価上昇などもあり、景気は後退している。特に製造業では、燃料や原料の価格高騰もあり厳しさを感じる。
	▲	その他サービス業【コンサルタント】（代表取締役）	取引先の様子	・市町村からの調査や計画、設計等の委託業務を請け負っており、例年9月、12月の補正予算で市町村から発注されてきたが、当月は追加の発注が少ない。調査や計画、設計等の予算化が少なく、委託業務が少ないことが影響している。このため景気は悪い。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・担当している部品に関しての受注は、激しい落ち込みではないが、大幅な受注減少になっている会社も見受けられる。
雇用 関連 (九州)	◎	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・就職戦線は、4年生から3年生にシフトしているが、理系の人材不足が顕著になっており、特に理系学生を採用したい企業のサイト掲載や合同企業説明会への参加希望が3か月前より増えている。その一方で、学生の動きが鈍く、需給バランスが崩れている。
	○	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・業界が幅広く、取扱メインの事務業務だけではなく福祉、医療、保育、サービス業など様々なジャンルの派遣利用に対する企業からの問合せが多い。
	○	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・宴会コンパニオンの派遣を行っているが、新年会の受注も順調に伸びている。
	○	新聞社【求人広告】（社員）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増加傾向にあるが、行動制限がないこともあり、イベントの中止などはみられない。また、全国旅行支援の効果もあり、旅行広告の出稿も続いている。新聞広告のカラースペースも、12月には日によっては一杯になっている。前年と比べボーナスの支給が増加しており、人も物も動き始めたのを実感している。そのため、一部の通信販売広告では反応が低下しているという声もある。海外旅行の新聞広告では、まだまだ動きが鈍い状態である。
	○	新聞社【求人広告】（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染状況は悪化しているものの、以前のような行動制限は行われていないため、人の活動は注意しながらも、それなりに動いている状況である。新幹線を始めとする交通機関や駅ビル、中心市街地への人も多くなっている。
	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・特にパートの求人数の増加が継続している。有効求人倍率は3か月連続で前年を超え、新規求人倍率は11か月ぶりに2倍を上回っている。
	○	学校【大学】（就職支援業務）	求人数の動き	・内定状況は、前年との比較で若干良い状況となっている。現在も就職活動を行っている学生が一定数いるが、今年の求人依頼件数は増えており、年間を通じ採用活動を行う企業も前年度より増えている。また、2024年卒採用についても業種によっては、採用数を増強する企業が増えてくることが予想され、求人状況は好転するのではないかと予想している。
		□	人材派遣会社（社員）	求人数の動き

□	学校〔専門学校〕（就職担当）	それ以外	・物価高騰により、就職状況は変わらずやや悪い。
▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・鉄道やバスのダイヤ改正で本数が削減されている。特に夜間、最終時間の繰上げで、忘年会や新年会が多い年末でも22時台に利用者が少ない。駅前のバスも繰上げや削減となっており、しばらくはこうした状況が続くと予想される。
×	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・当社が発行する求人情報の件数が、これまで前年比を120%から130%で推移してきたが、今月は前年並みになっている。